

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌



評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	南部高等支援学校	階数	地上3F
建設地	札幌市南区真駒内上町4丁目7の内、17-547	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、法22条	平均居住人員	238人
気候区分	1地域	年間使用時間	2,180時間/年
建物用途	学校、飲食店、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年2月 予定	評価の実施日	2016年2月1日
敷地面積	19,282 m ²	作成者	日本都市設計
建築面積	5,001 m ²	確認日	2016年2月1日
延床面積	9,268 m ²	確認者	日本都市設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%

②建築物の取組み 87%

③上記+②以外の 84%

④上記+ 84%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.9

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項

<p>総合</p> <p>札幌市の施設計画のコンセプトに基づき、『札幌市の高等支援学校として、個性があり、専門的な職業訓練の場となるよう、また、積極的に生徒と地域住民の交流が行われる施設づくり』を目指します。</p> <p>◎高い就労率を目指す教育の場の整備</p> <p>◎生徒と地域住民との交流の場の整備</p> <p>◎明快なゾーニングと動線計画</p>		
<p>A 省エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外断熱工法 ・LOW-Eペアガラス ・照明LED化 ・太陽光発電パネル設置 ・節水型衛生器具 	<p>B 省資源等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル資材の使用 ・敷地内既存樹木の活用 	<p>C 緑化</p> <p>既存樹木が多い敷地であることから、緑化率は可能な限り多めとする。 (緑化率許可基準20%、計画緑化率23%程度)</p>
		<p>D 雪処理</p> <p>敷地内に堆雪スペースを確保。 敷地内の建物廻りを除雪機が通れる配置計画とする。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される